

きいて・めもして・こたえよう

にぶん いちせいじんしき けいかく 二分の一人式の 計画

なまえ
名前

聞くめあて 式の「プログラム」と、係の「分たん（役わり）」を、分けてメモしましょう。

ことば
おとさない言葉：プログラム・役わり・数字

ほうそう
放送が終わったら、開いて問題に答えましょう。

(1) 「二分の一人式」は、何才になったことをお祝いする会ですか。

(2) 式のプログラムで、さいごにすることは何ですか。

(3) 係の分たんとして、話に出てこなかったものはどれですか。○をつけましょう。
ア 司会の係

イ かざりつけの係

ウ こんだてを作る係

(4) 二分の一人式について、聞いておきたいことを、一つ「しつもの文」で書きましょう。

すすめ方

- ① 中央の点線で山折りにして、「めも」の面だけを表にする (問題を先に見せない)。
- ② この放送文を先生が読む (または用意した音声流す)。**読む回数: 2回**。聞きながらメモを取らせる。
- ③ 放送が終わったらプリントを開き、メモを見ながら問題に答えさせる。

放送文

来月の参観日に行く、「二分の一人式」の計画を、話します。二分の一人式とは、二十才の半分、十才になったことを、おうちの人といっしょに、お祝いする会です。

式のプログラムは、三つです。はじめに、一人ずつ、しょうらいのゆめを発表します。つぎに、みんなで、よびかけと、合唱をします。さいごに、おうちの人へ、感しゃの手紙をわたします。

つぎに、係の分たんを決めます。司会の係、かざりつけの係、プログラムを作る係の、三つがあります。自分のやりたい係に、手をあげてください。

この日のために、これから、よびかけの練習や、合唱の練習をしていきます。おうちの人に、いちばんかっこいい、成長したすがたを見てもらえるように、みんなで力を合わせて、じゅんぴしましょう。

メモのれい

二分の一人式の計画 (来月の参観日 / 十才のお祝い)

プログラム三つ: ①一人ずつゆめを発表②よびかけと合唱③感しゃの手紙をわたす

係: 司会 / かざりつけ / プログラム作り (やりたい係に手をあげる)

これから: よびかけ・合唱の練習 / 力を合わせてじゅんぴ

こたえと かいせつ

(1) 十才

「二十才の半分、十才になったことを…お祝いする会」と言っていました。

(2) おうちの人へ、感しゃの手紙をわたす

プログラムは「ゆめを発表」→「よびかけと合唱」→「感しゃの手紙をわたす」のじゅんでした。

(3) ウ (こんだてを作る係)

係は「司会」「かざりつけ」「プログラムを作る」の三つでした。こんだてを作る係は出てきません。

(4) (例) よびかけは、何を言うのですか。 / 服そうは、どうすればよいですか。

成人式に関する「たずねる文 (～ですか。)」になっていれば正解です。